

映像から「今」を考える
上映会
「Start Line(スタートライン)」

生まれつき耳の聞こえない映画監督が、自転車で沖縄から北海道までの日本縦断の旅へ。コミュニケーションの壁にへこみ、涙しながらも走り続ける57日間の記録。世の中のためらう人に観てほしい、一篇の勇気のおすそわけ。

時 1月25日(木)13時半開場・14時上映
場 保谷駅前公民館
対 市内在住・在勤・在学者
定 40人程度(申込順)
申 1月9日(火)10時から電話で保谷駅前公民館へ



監督：今村彩子／2016年／日本／1時間52分

2017年 韓国・全州国際映画祭 招待作品
2017年 ドイツ・フランクフルト日本映画専門映画祭<ニッポンコネクション>招待作品

「ひばりが丘」 上映会
「月あかりの下で ~ある定時制高校の記憶~」



監督：太田直子／2010年／日本／1時間55分

定時制高校をご存じですか？夜の教室は学びのエッセンスであふれています。監督のお話も伺います。ぜひ、ご参加ください。

時 1月21日(日) 開場：13時 映画：13時半～15時半 監督トーク：15時40分～16時半
場 ひばりが丘公民館
対 市内在住・在勤・在学者優先
定 50人(申込多数の場合は抽選)
講 太田直子(映画監督)
申 1月12日(金)12時までに電話かメールでひばりが丘公民館へ

「田無」 現代課題を考える講座公開講座
ドキュメンタリー映画
「さとにきたらええやん」上映

大阪市西成区釜ヶ崎「日雇い労働者の街」にある「こどもの里」を舞台に、時に悩み、立ち止まりながらも全力で生きる子どもたちをいきいきと映した傑作。

時 2月4日(日)9時半開場・10時上映
場 柳沢公民館
※田無公民館ではありません。ご注意ください。
対 18歳以上の市内在住・在勤・在学者
定 50人(申込順)
申 1月9日(火)10時から電話で田無公民館へ



監督：重江良樹／2015年／日本／1時間40分

「柳沢」 まちづくり講座公開講座
人が集まる！
イベント企画とチラシの作り方



多くの実例を交えて、集客できる企画のコツや手にとってもらえるチラシ作りのノウハウを学びます。ぜひ、ご参加ください。

時 1月13日(土)10時～12時
場 柳沢公民館
対 市内在住・在勤・在学者
定 20人(申込多数の場合は抽選)
講 坂田静香(NPO法人男女共同参画おおた理事長)
申 1月10日(水)17時までに電話かメールで柳沢公民館へ

「柳沢」ムービールーム柳沢

場 柳沢公民館
申 当日、上映45分前から整理券を配ります。上映30分前から整理券の番号順にお入りいただけます。上映時間前のお入りにはご協力をお願いします。
定 50人(先着順です。定員に達した場合、入場をお断りすることがあります。あらかじめご了承ください。)

「ガス燈」(1944年/アメリカ/1時間54分)

1月10日(水)14時～
監督：ジョージ・キューカー
出演：シャルル・ボワイエ、イングリッド・バーグマン ほか

「深夜食堂」(2014年/日本/1時間59分)

1月26日(金)19時～
監督：松岡錠司
出演：小林 薫、オダギリジョー ほか

公民館で保育室を利用しながら

平成30年度学習支援保育の申請を受け付けます

申請するには

■ 申込締切日 1月19日(金)

平成30年度の学習支援保育を希望するグループは、1月19日(金)までに活動を希望する公民館へ直接申し込んでください。その後、担当者が活動内容等を確認した上で、必要書類を提出していただきます。

■ 必要書類提出期限 2月28日(水)17時

学習支援保育の対象・内容

学習支援保育は、毎月継続的に公民館で学習活動を行っている市民グループが対象です。

平日の午前中の2時間、午後6か月以上の未就学児を3人以上から保育します。定員は15人(柳沢公民館のみ18人)です。一人で複数の学習支援保育を受けることはできません。



その他の詳細は各館へお問い合わせください。

公民館保育室とは？

柳沢・田無・芝久保・谷戸・ひばりが丘公民館には、「公民館保育室」があります。乳幼児を育てている市民が学習に参加できるように設けられ、その学習活動の間、公民館保育員が保育します。乳幼児の一時預かり所ではなく、公民館学習活動の一環として運営しています。

保護者が学習に参加し、共に学び社会の一員として成長していくこと、また乳幼児も人とのかわりの中で育ち合うことを目的としています。

公民館保育室は市民参加の運営を心がけているため、学習支援保育を利用するグループは、定期的に行う保育室運営会議に主体的に参加して保育室・学習支援保育のより良い運営について一緒に考えていただきます。

公民館 市民企画事業

中期報告会

12月までに実施された市民企画事業について、実施団体が事業の概要や感想などを報告します。どなたでも参加できます。

時 1月13日(土)10時
場 谷戸公民館

事業案内

公民館の現状とこれからの考える自分自身が公民館を必要とする理由から考える。

公民館をよりよくする会 自分にとってなぜ公民館が必要なのか、そこから考え、私たちの生活や生き方を問い直す大事なことをつかみ出しませんか。

時 1月20日(土)13時半～16時半
場 柳沢公民館
定 120人(先着順)
講 荒井容子(法政大学社会学部教授)

福島の原発事故と文学 南相馬市出身の作家が、チェルノブイリ訪問の記録映像と新作『無常の神が舞い降りる』を通してフクシマの未来を考える。

時 1月27日(土)14時～16時
場 田無公民館
定 70人(先着順)
講 志賀泉(文学作家) 300円(資料代)



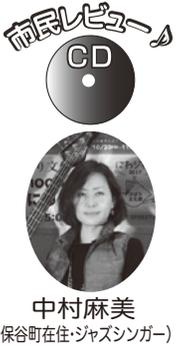
メールでの講座申込方法

アドレス：1面参照
件名：講座名
本文：氏名・電話番号・住所・年代
※後日確認メールを送ります。届かない場合はお手数ですが、電話でお問い合わせください。

私がジャズを歌い始めたのはこの6年余り。それまで敷居が高く感じ、何となく敬遠していたジャズを身近に感じたのは、意外にも？ 映画音楽やミュージカルの挿入歌の多くが、ジャズの定番(スタンダード)曲となっていることを知ってからです。

その中でも、特に私が好きな曲は「マイ・ファイバリット・シングス」です。この曲は1959年のミュージカル「サウンド・オブ・ミュージック」の劇中歌であり、JR東海のCM等でも使用されている人気曲です。

1961年にサクソスプレーヤーのジョン・コルトレーンが発売したアルバム「マイ・ファイバリット・シングス」は、この曲がジャズの定番曲となった最初の作品といわれています。サクソス、ピアノ、ドラムの織り成す音の世界は、テーマと呼ばれる基本のメロディから次々と音色を変え、表情を変え、テーマの面影も無くなっていき…。ジャズの醍醐味が詰まった曲となっています。ぜひ、ジュリー・アンドリュースの原曲と聴き比べてみてください。



中村麻美 (保谷町在住・ジャズシンガー)